

MPE720 改善項目・不具合修正変更

1. 機能追加・改善項目

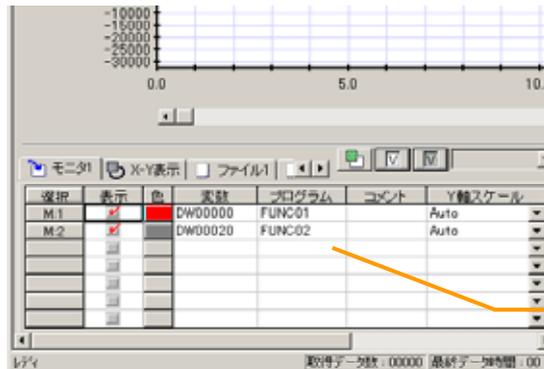
MPE720 Ver5.35 Ver5.36 の機能追加・改善項目は次のとおりです。

No	機能項目	分類
1	ユーザ関数 D レジスタのトレース機能対応	機能追加
2	通信プロセス シリアルポート同時割付数拡張	機能追加
3	通信プロセス COM ポート番号拡張	機能追加
4	モーションパラメータインポート・エクスポート機能	機能追加
5	ユーザ関数の印刷系統図対応	機能追加
6	****SERVO (メカトロリンクモジュール) 対応	機能追加
7	転送メッセージ改善	機能追加
8	通信プロセス GW 機能対応	機能追加
9	アプリケーションコンバータレジスタ置換不具合	未然防止
10	電子カムツール転送不具合	未然防止
11	Expression コンパイル不具合	未然防止
12	トレースマネージャオンライン保存時エラー表示不具合	未然防止
13	コイルディセーブル設定不具合	未然防止
14	アプリケーションコンバータ変換時ダウン	不具合修正
15	トレースマネージャスクロール不具合	不具合修正
16	シンボル転送不具合	不具合修正
17	調整パネル保存不具合	不具合修正
18	モーションプログラム保存サイズチェック機能追加	不具合修正

2. 修正内容説明

No1. ユーザ関数 D レジスタのトレース機能対応

ユーザ関数のローカルレジスタ（Dレジスタ）をトレース対象レジスタとして定義できるようにしました。

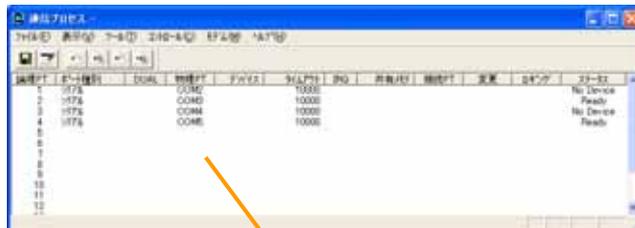


ユーザ関数の
Dレジスタを指定可能

コントローラ Ver2.47 以降で本機能を使用可能。

No2. 通信プロセス シリアルポート同時割付数拡張

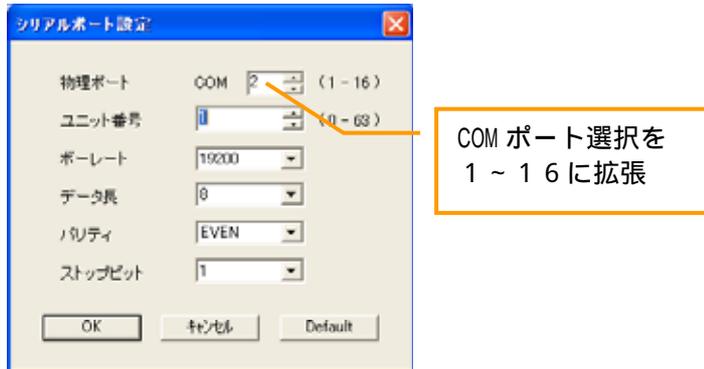
これまで通信プロセスのポートにシリアルポートは同時に2つまでしか割付ができませんでしたが、これを最大4つまで割り付けできるようにしました。



同時に4つまで
シリアル割付可能

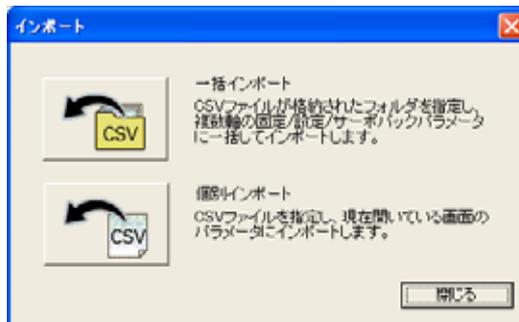
No3. 通信プロセス COM ポート番号拡張

USB -> シリアル変換機などで、使用 COM ポート数が増加しているため、通信プロセスのシリアルポート設定時に、使用可能な COM ポート番号を最大 16 まで設定できるようにしました。



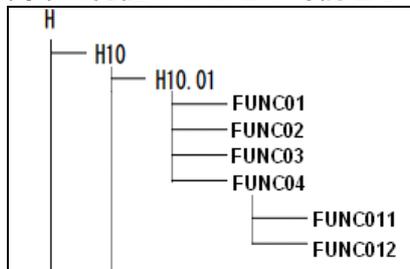
No4. モーションパラメータインポート・エクスポート機能

MP2000 シリーズの固定・設定・サーボパラメータを CSV 形式でインポート / エクスポートできるようにしました。これまで PLC フォルダ単位でしか管理できなかったモーションパラメータを CSV 形式で管理できますので、ある軸パラメータを複数軸に反映したり、モーションパラメータの設定値を CSV 形式で保存することが可能になります。



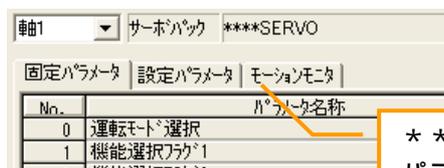
No5. 印刷系統図

図面印刷を実行する際に、ユーザ関数図面の依存関係を読み出して系統図印刷する機能を作成しました。これによりユーザ関数がどのように呼び出されているかを簡単に把握することが可能となります。



No6. メカトロリンク ****SERVO 対応

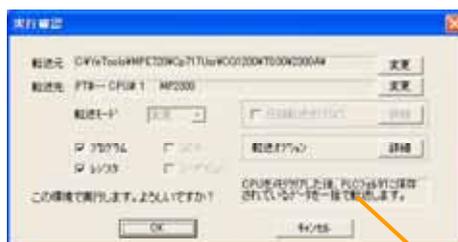
汎用のメカトロリンクサーボとして割付可能な****SERVO モジュールを追加しました。これにより、サードパーティ製のメカトロリンクサーボなどを割付可能になります。



****SERVO はサーボ
パラメータを有しません

No7. 転送メッセージ改善

一括転送、個別転送画面において、それぞれの転送操作に関するメッセージを表示するようにしました。

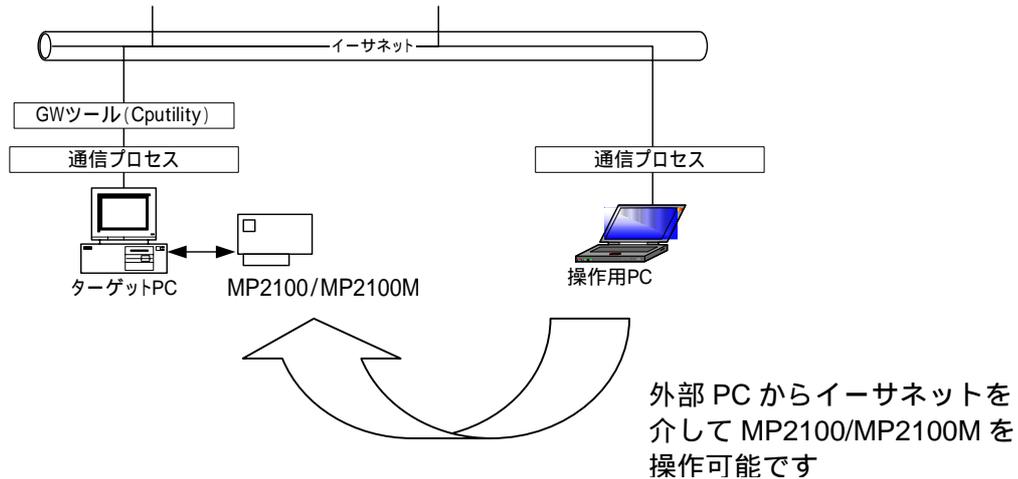


対象の転送操作についての
説明を表示します

No8. 通信プロセス GW 機能対応

MP2100/MP2100M を使用している PC がイーサネットポートを持っている場合、イーサネットを介して外部の MPE720 から、PC に装着されている MP2100/MP2100M を直接エンジニアリングすることが可能になります。

【接続イメージ】



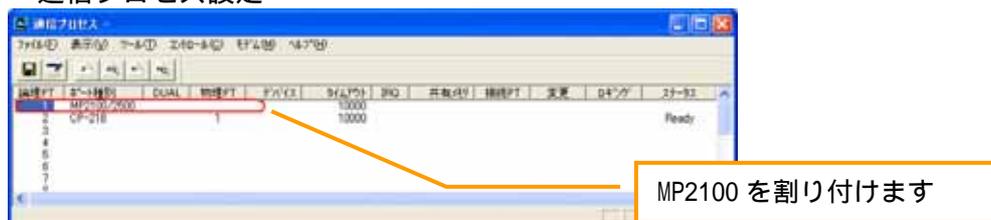
通信プロセス GW 機能操作手順

(1) MP2100/MP2100M 装着側 PC 設定

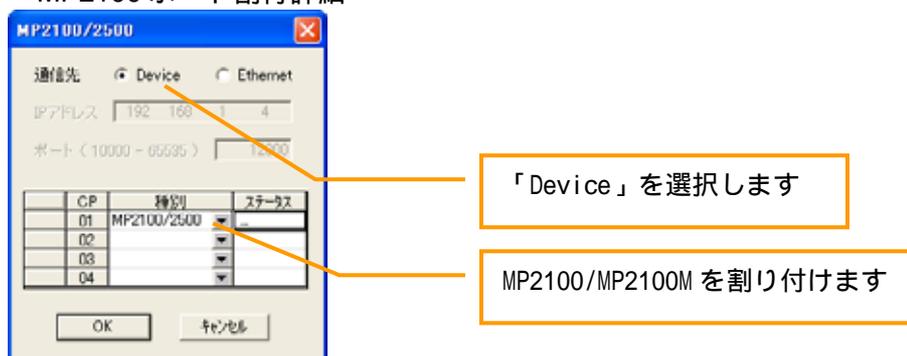
通信プロセス設定

MP2100・MP2100M が装着された PC (以降ターゲット PC と呼ぶ) の通信プロセスを起動して以下の設定を行います。

< 通信プロセス設定 >



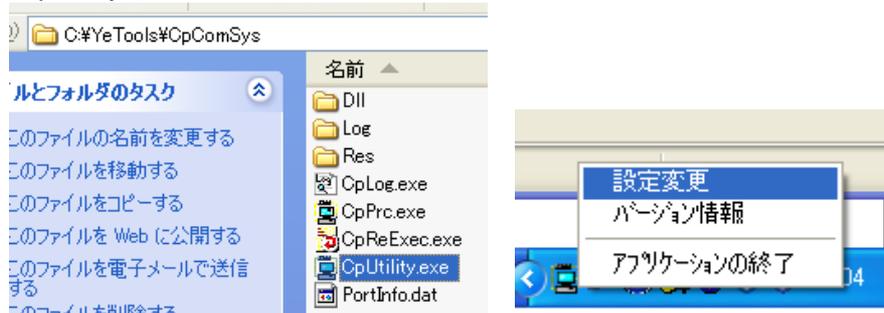
< MP2100 ポート割付詳細 >



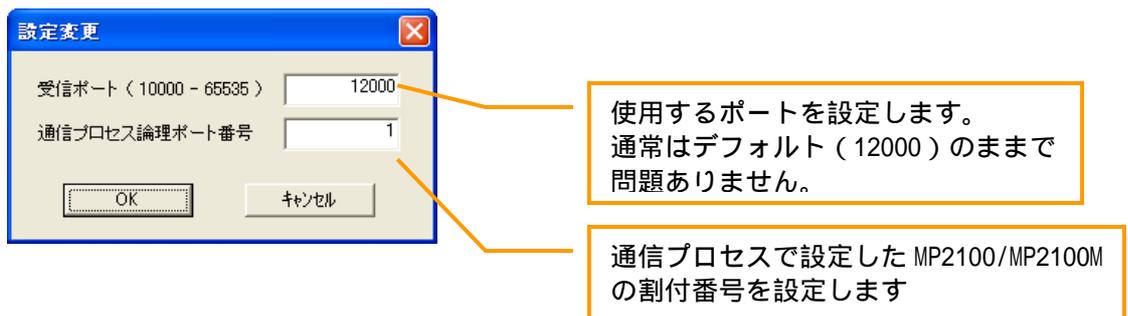
通信ユーティリティ設定

通信 utility (Yetools\Cpcomsys\Cputility.exe) を起動すると、PC 環境に通信 utility が常住すると同時にアイコントレイに通信 utility のアイコンが格納されるので、マウスのポップアップメニューより「設定変更」を実行します。

< CpUtility 設定 >



設定変更を実行すると通信 utility の設定変更画面が起動します。



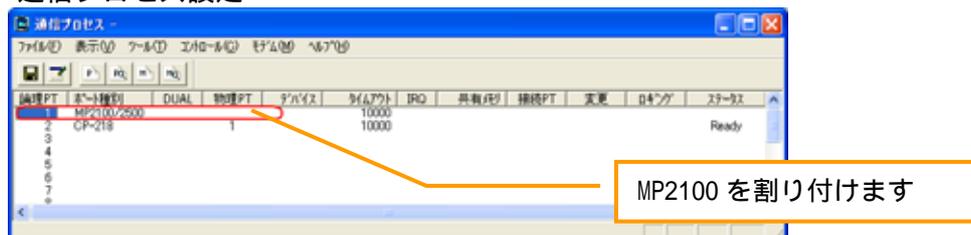
受信ポート、通信プロセス論理ポート番号をお使いの環境に合わせて変更して設定してください。

上記例では、受信ポートとして 12000 (デフォルト設定)、通信ポート番号は先に通信プロセスの割付画面で設定した MP2100/MP2500 の割付ポート番号 (ここでは 1) を指定しています。

(2) 操作用 PC の設定

操作用 PC の通信プロセスを起動し、以下の設定を行います。

< 通信プロセス設定 >



< MP2100 ポート割付詳細 >

「Ethernet」を選択します

MP2100/MP2100M 装着 PC の IP アドレスを設定します

MP2100/MP2100M 装着 PC の通信 utility で設定したポート番号を指定します。
(通常は 12000 で問題ありません)

(3) MPE720 の起動

(1)、(2) の操作が完了したら、操作側 PC で MPE720 のファイルマネージャを起動して MP2100/MP2100M の PLC フォルダを作成します。そして、接続先の論理ポート番号には、先ほど通信プロセスで割付した MP2100/MP2100M の PT 番号を設定します。
(通常の MP2100/MP2100M との接続と同じです)

注意：操作側 PC からターゲット PC にアクセスする場合に、誤って通信 utility の論理ポート設定を MP2100 以外の割付に設定した場合、ログイン操作を繰り返すと無応答になることがあります。
この場合は通信 Utility を再起動するようにしてください。

No9. アプリケーションコンバータレジスタ置換不具合

すでに割付のあるレジスタ・シンボルの領域へレジスタを移動させようとする
とレジスタ変換がずれたり、おかしくなったりすることがありましたので、これを
修正しました。

No10. 電子カムツール転送不具合

電子カムツールで転送時、転送手順によっては作成したデータが正しく転送されないことがありましたので、これを修正しました。

No11. Expression コンパイル不具合

Expression 命令に左辺が存在しない等号式 (“ = 0 ; ”) の表記を行うとダウンしていましたので、これを修正しました。

No12. トレースマネージャオンライン保存時エラー表示不具合

オンライン接続時にトレースマネージャにて誤った定義 (存在しない関数定義を保存) を行っても、エラーダイアログ表示が表示されることなく保存処理が完了していたため、これを修正しました。

No13. コイルディセーブル設定不具合

ラダー上でコイルの状態をディセーブル ON 設定した後に、enable 設定もしくはディセーブル OFF に設定した場合、再度開きなおすとコイル状態がすべてディセーブル ON になってしまっていたので、これを修正しました。

No14. アプリケーションコンバータ変換時ダウン

MPE720Ver5.32 以前でコンパイルされた新ラダーデータをアプリケーションコンバータ実行すると、アプリケーションコンバータがダウンしていましたので、これを修正しました。

No15. トレースマネージャスクロール不具合

トレースマネージャでセル表示箇所を最大表示した後、マウスホイールで上下にスクロールを繰り返すとダウンしていましたので、これを修正しました。

No16. シンボル転送不具合

オフライン転送時、新ラダーのシンボルデータが正しく転送されないことがありましたので、これを修正しました。

No17. 調整パネル保存不具合

新ラダーエディタを使用時に調整パネルを開いた後、モーションエディタを開いてから再度調整パネルに戻って保存すると「書き込みエラー」が発生して保存ができませんでしたので、これを修正しました。

No18. モーションプログラム保存サイズチェック機能追加

プログラム保存時、モーションプログラムのテキストサイズが 64kbyte を超えるとエンジニアリングマネージャがダウンしていたため、これを修正しました。